

千葉市立緑町中学校 キャリア教育グランドデザイン

総合的な学習の時間の研究について

全体研究主題との関わり		生徒の実態	
<p>総合的な学習の時間では、横断的・総合的な学習としての性格を持ち、探究的な見方・考え方を働かせて学習することがふさわしく、そこで育成される資質・能力が、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくことに結びついていくような、教育的に価値のある諸課題であるべきとされている。そこで、職業や自己の将来に関する課題を中心として学習に取り組み、各学年を以下のとおりに位置づけた。</p> <p>1年生…【視野を広げ、「学び方」の基礎を身に付ける段階】 職業を知る</p> <p>2年生…【協働的に学習に取り組む中で、追及の仕方を学ぶ段階】 働くことの意義を学ぶ</p> <p>3年生…【培った力を生かしながら、個人テーマを追求する段階】 将来の私を考える</p>		<p>昨年度のアンケートで「将来役に立つ学習は何だと思えますか」という質問では、総合的な学習の時間を選んだ生徒が、36%であった。この結果から、総合的な学習の時間に行っている活動が生徒のどのような力を伸ばすことにつながるのか、将来どのように役に立つのかという目標を提示することが必要だと考えた。そのために、体験的な学習の中で思考力・判断力・表現力を伸ばすこと、学校行事や学習の中で見通しを持たせることが大切だと考えた。</p> <p>また、アンケートの「わからないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集したり、誰かに質問をしたりしているか」という質問では、肯定的な回答が89%であった。このことから協働的な学習活動を今後も充実させ、自己と他者について考えさせたい。</p>	
研究主題			
<p>自己の生き方を考えていくための探求的な学習活動の工夫 ～課題解決能力の向上を目指して～</p>			
目指す生徒の姿			
㊦ とめあう力	㊦ つめる力	㊦ いだす力	㊦ とおす力
<ul style="list-style-type: none"> 仲間と互いの特徴を尊重しながら協働して課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職業について考え、自らで進路を切り開く力をつけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて手段を選択し、情報を収集することができる。 複雑な問題状況の中から適切に課題を設定することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育を活動の中心に据えた体験学習に見通しをもって取り組むことができる。